

## 1 第17回 水と緑ウォッチングウォーク 開催実績

圏域住民の貴重な財産といえる水と緑の豊かな自然を再発見し、自然を慈しむ心を育む機会として、毎年趣向を凝らしたウォーキングコースを設定して散歩しています。

今年度は、西東京市の谷戸イチョウ公園を起点とし、同じく西東京市のはなみずき公園において、日頃より維持管理を行っているボランティア団体から、日々の活動等について説明を聞く機会を設けました。

その後に東久留米市に入り、2,000本を超える孟宗竹に囲まれている竹林公園でひとときの休憩を取り、一級河川である落合川と黒目川の川沿いを歩きながら、ゴールである上の原東公園を目指しました。

今回は川沿いを歩く時間が多く、豊かな水と緑に触れ、自然に親しむ良い機会となりました。

- (1) 開催月日 令和元年10月5日(土)
- (2) 開催場所 谷戸イチョウ公園(西東京市) → はなみずき公園(西東京市)  
→ 東久留米市南部地域センター → 竹林公園 → 神宝大橋(落合川・黒目川合流点)  
→ 東久留米市東部地域センター → 神山堂阪公園 → 上の原東公園(解散場所)
- (3) 参加状況 参加人数 62人(応募人数73人)  
[30年度:参加人数80人(応募人数95人)]
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市:東久留米市



■谷戸イチョウ公園(スタート地点の様子)



■落合川沿い遊歩道(コース中盤の様子)



■上の原東公園(ゴール地点の様子)

## 2 第32回 多摩北部5市美術家展 開催実績

多摩六都フェア「多摩北部5市美術家展」は、多摩北部5市を代表する著名な画家の方々の作品を、地域住民に鑑賞してもらうことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、地域内における文化芸術の普及と還元を図ることを目的に実施しています。

当初は清瀬市郷土博物館で行われてきた「圏域美術家展」について、第16回（平成15年度）より多摩北部5市を巡回して開催しており、平成29年度より「多摩北部5市美術家展」へと改称を行いました。会場には5市を代表する著名な画家の方々の作品を展示し、様々な画風を展開しました。

来場者からのアンケートでは、「創造性や美術活動への意欲につながる。」、「子ども達に美術の素晴らしさを教えていくべきだ。」、「大変良い企画で、他の人の見方や感じ方、十人十色で楽しかった。」などの評価をいただきました。

- (1) 開催月日 令和元年11月22日(金)～11月28日(木)  
午前10時～午後6時  
※11月26日(火)に「対話による美術鑑賞」体験会を実施  
1回目：午前10時30分～午前11時10分  
2回目：午前11時30分～午後0時10分
- (2) 開催場所 南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」 2階多目的ホール
- (3) 参加状況 来場者数 791人 (30年度：781人)  
出品数 51点 (30年度：37点)  
小平市9点、東村山市7点、清瀬市9点、東久留米市6点、西東京市20点
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市：西東京市  
企画 多摩北部5市美術家展実行委員会

### ○開催記録写真

(左上) 展示会場風景

(右上) 展示会場風景

(左下) 「対話による美術鑑賞」体験会風景

(右下) 「対話による美術鑑賞」体験会風景



3 スポーツ大会（ボッチャ） 開催実績

多摩北部都市広域行政圏協議会は、市域を越えた隣接する各市が相互に連携し、共通する行政課題を効果的に解決していくことを目的としています。

本大会は、2020年に開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機とし、スポーツを通じて相互理解を深めるとともに、各市の市民の機運醸成を図ることを目的とし開催しました。

- (1) 開催月日 令和元年12月7日(土) 午前9時～午後4時
- (2) 開催場所 東村山市民スポーツセンター（東村山市）
- (3) 参加状況 40チーム 149人
- |       |     |                        |
|-------|-----|------------------------|
| 1位リーグ | 優勝  | らら（東村山市）               |
|       | 準優勝 | 小平スマイルボッチャ(B)（小平市）     |
|       | 第3位 | 南台ぎんなんボーイズ（東村山市）       |
| 2位リーグ | 優勝  | ボッチャ小平小川クラブ（小平市）       |
|       | 準優勝 | じっちゃばっちゃぼっちゃ（西東京市）     |
|       | 第3位 | グリーングリーンズ（東村山市）        |
| 3位リーグ | 優勝  | 創立令和元年度清瀬市役所ボッチャ部（清瀬市） |
|       | 準優勝 | 金山クラブ（東村山市）            |
|       | 第3位 | チーム赤P（西東京市）            |
| 4位リーグ | 優勝  | さくら（東村山市）              |
|       | 準優勝 | 小平スマイルボッチャ(A)（小平市）     |
|       | 第3位 | 吹矢 あやめ（東村山市）           |
| 5位リーグ | 優勝  | 梨の園Prince（東村山市）        |
|       | 準優勝 | ポッチャマ（東村山市）            |
|       | 第3位 | 賢人坊チャンズ（東村山市）          |
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市：東村山市  
協力 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会  
東京都立田無工業高等学校  
圏域5市スポーツ推進委員会（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）



4 2019 こだいら合唱団西東京フィルハーモニーオーケストラ演奏会 開催実績

音楽文化豊かな多摩六都の形成のため、多摩地域を拠点に活動している市民オーケストラと共に合唱演奏会を催しました。

特徴は、出演する合唱団員を5市の広報紙(5月頃)等を通じて広く一般公募する点で、総勢196人(ソプラノ83人、アルト68人、テノール22人、バス23人)の「こだいら合唱団」がこの演奏会のために結成されます。

7月上旬の結団式以来、毎週水曜日の夜間にルネこだいらにおいて、合唱指導者の柳嶋耕太氏、谷郁氏、町村彰氏、薄木葵氏、三好すみれ氏の指導のもとに練習を重ね、本番に臨みました。

オーケストラについては、多摩六都地域を拠点に活動している「市民オーケストラ」と共に実施することとしており、毎年度入れ替えを行い、広域的な連携を図っています。

- (1) 開催月日 令和元年12月15日(日) 午後3時～午後5時
- (2) 開催場所 小平市民文化会館(ルネこだいら)大ホール
- (3) 出演者 指揮：和田一樹 管弦楽：西東京フィルハーモニーオーケストラ(71人)  
合唱：2019こだいら合唱団(196人)  
独唱：榎本桂子(ソプラノ)、近野賢一(バリトン)
- (4) 曲目 シューマン：交響曲第3番 変ホ長調《ライン》作品97  
ブラームス：ドイツ・レクイエム 作品45
- (5) 参加状況 来場者数868人(一般838人 招待30人)【30年度：937人】
- (6) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会、(公財)小平市文化振興財団 開催市：小平市  
企画運営：2019こだいら合唱団実行委員会、西東京フィルハーモニーオーケストラ



5 パラアート制作ワークショップ及びパラアート展覧会 開催実績

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成及び大会後の共生社会の実現に向けて、障がいの有無に関わらず誰もが文化芸術に触れ、創造する環境づくりを促進するため、「この街と生きる！」をテーマに「パラアート制作ワークショップ」及び「パラアート展覧会」を開催しました。

ワークショップでは、圏域内に在住・在学の中学生・高校生で障がいのある方を対象に参加者を募集し、9名の受講生が参加しました。「自分が生きる街・生きたい街」というテーマのもと、街の写真を撮影し、スクラップキャンパスの作成やキットパスを使用して、透明なビニール傘に絵を描くなど行いました。また、受講生で合作の作品を制作することで、受講生同士の交流を生むことができました。

展覧会では、ワークショップで制作した作品に加え、圏域に在住・在勤・在学の障がいのある方から「街」をテーマに絵画作品を募集し、展覧会を行いました。展覧会は、圏域5市を順番に回って開催することで、800名を超える多くの方々にご来場され、作品を楽しんでいただきました。

最後に、展覧会に展示した作品の中から優秀作品を選定し、受賞者へ表彰状を授与するとともに、ワークショップ受講生へ修了証書を授与する表彰式を開催し、事業を終了しました。

ワークショップに参加された方々からは、「他の受講生と交流しながら、作品を作ることができた。」「普段取り組めないことが体験できて貴重な体験となった。」などのお声を、展覧会で鑑賞された方々からは、「様々な作品が集まっており、興味深い。」「一人一人の個性が作品に表れていた。」「パラアートの奥深さを感じた。」などのお声をいただきました。

- (1) 開催月日      ワークショップ：令和元年9月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土） 全4回  
展覧会：令和元年12月21日（土）～令和2年2月2日（日）のうち26日間  
表彰式：令和2年2月2日（日）
- (2) 開催場所      ワークショップ：西東京市西原総合教育施設  
展覧会：清瀬市生涯学習センター、東村山市立中央公民館、小平市中央公民館、東久留米市  
市民プラザスペース105、コール田無  
表彰式：コール田無
- (3) 参加状況      受講生 9人、展覧会来場者数836人、展覧会出品数123作品、表彰式49人
- (4) 主 催          西東京市・多摩北部都市広域行政圏協議会



ワークショップ



展覧会

6 第14回 高校生写真展 開催実績

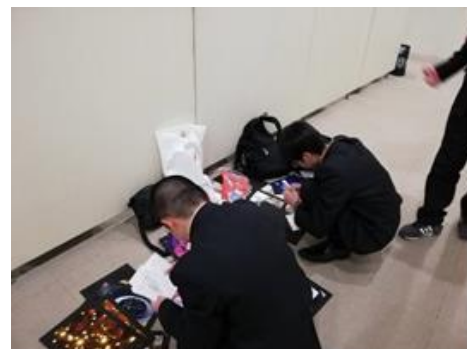
多摩北部地域を中心とする高等学校の写真部等が日常の作品を持ち寄り、写真技術の向上と部活動の活性化及び高校生同士の交流を図ることを目的としています。

多摩北部都市広域行政圏の青少年の健全育成事業として、小平市の「ヤング・ダンスフェスティバル」、東村山市の「ヤングライブフェスティバル」とともに立ち上げた事業のひとつで、清瀬市の「高校生写真展」は平成18年度に試行として前倒実施され、令和元年度で第14回を迎えました。

多摩六都フェア高校生写真展は、もともとは合同写真展として平成12年度に都立清瀬東高校写真部と都立久留米高校写真部で合同写真展を立案し、都立小平高校写真部の参加を得て、平成13年1月19日～23日に第1回合同写真展として清瀬市生涯学習センター（清瀬駅北口）のギャラリーで開催されたのを契機とし、今回で第20回目を数えます。

同世代の物の見方や考え方に触れ合い、写真をとおして感性や創造性を発見する絶好の場となっており、少人数の写真部等では部活動の活性化に寄与しています。

- (1) 開催月日 令和2年2月2日（日）～9日（日）  
午前9時～午後5時（初日2日は午後1時から。3日は休館。最終日9日は午後3時まで）
- (2) 開催場所 清瀬市郷土博物館2階ギャラリー
- (3) 参加状況 7校、52人、展示作品数137点（30年度：7校、62人、207点）  
都立東久留米総合高等学校、都立久留米西高等学校、都立武蔵村山高等学校、都立大泉高等学校、都立田無工業高等学校、都立府中西高等学校、都立小金井北高等学校  
来場者 延べ205人
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市：清瀬市  
共催 合同写真展実行委員会、清瀬市教育委員会



## 7 第13回 ヤングライブフェスティバル 開催実績

多摩北部都市広域行政圏の青少年の健全育成事業として、小平市の「ヤング・ダンスフェスティバル」、清瀬市の「高校生写真展」とともに立ち上げた事業のひとつで、平成19年度から事業を開始し、令和元年度で第13回を迎えます。

構成5市に在住・在勤・在学する概ね15歳から25歳の青少年が構成するグループ又は個人（ジャンルを問わず）が一堂に会して日頃の活動成果を発表する場を提供し、圏域内の青少年の居場所づくりと交流を目的としています。

参加者は、多摩六都に所属する学校ごとへの電話及び申込書の送付、広報紙や市のホームページ等で募集しています。できるだけ多くの青少年に参加してもらうため、オーディションは実施していません。令和元年度は40組が参加しました。

各グループの代表者は、事前に実行委員会に参画し、開催準備に携わります。司会進行は、当市教育委員会事業「東村山っ子育成塾」でリーダーを務めている高校生と大学生が務めました。

参加者はステージ上の演奏だけでなく、受付による来場者の出迎え、演出の考案、司会者とのトークや出演者に対するインタビューなど、来場者を楽しませるための工夫を凝らしています。

開催時期は、アンケートから過去に参加者（主に高校生）から学年末試験前の2月中旬、もしくは終業式後の3月下旬開催が適当との意見があったことから、毎年同時期に開催しています。また、今回のアンケートでリハーサルや本番の曲数について聞き、リハーサルの必要性や2曲は演奏したいといった意見があり、今後の運営に活かしていきたいと思います。

今回に続いてのバンドはよりスケールアップした演奏をしてもらい、今回がライブ初挑戦となったグループにとっては、大きなステージで演奏するという貴重な機会を経験することができ、かつ他のグループの演奏を聴くことで、多くのことを学び、地域を超えた交流ができました。

- (1) 開催月日 令和2年2月9日（日） 午前10時～午後5時
- (2) 開催場所 東村山市立富士見公民館ホール
- (3) 参加状況 来場者数 556人（延べ人数）（30年度：703人）
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会、多摩六都ヤングライブフェスティバル実行委員会  
開催市 東村山市  
共催 東村山市教育委員会



8 第14回 ぴゅあ あーと展 開催実績

圏域5市が連携して、障がいのある人の作品展を開催することにより、その芸術・文化活動を推進するとともに、圏域市民の理解を深めることを目的として、平成18年度から事業を開始し、今年度で14回目を迎えます。圏域に居住、通勤し、障がいのある人の芸術・文化活動の推進に関心のある有志が実行委員会を立ち上げ、企画運営しています。

また、選考会及び作品展の会場設営や後片付けには、圏域5市の福祉作業所職員、手をつなぐ親の会の皆さんが応援スタッフとして、ボランティアで参加しています。

ぴゅあ あーと展は、選考会で専門家に選出された作品（絵画・書道・陶芸・立体・染物など）が展示されることから、同展に入選することが制作者の目標となり、日々のモチベーションアップにもつながっています。

オープニング・セレモニーでは、作品をプロジェクターで投影しながら入選者を紹介しました。ミニコンサートと合わせて、毎年好評を得ています。また、ぴゅあ あーと展の来場者と1つの作品を作るワークショップも開催されました。

- (1) 開催月日 令和2年2月19日(水) 午後4時～午後7時  
(オープニング・セレモニー 午後5時30分から)  
令和2年2月20日(木)、2月21日(金) 午前10時～午後5時
- (2) 開催場所 東久留米市市民プラザホール、屋内ひろば
- (3) 参加状況 展示作品 115点 (30年度：101点)、応募作品点 387点 (30年度：323点)、  
来場人数 611人 (30年度：682人)
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市：東久留米市  
運営 多摩六都フェア ぴゅあ あーと展実行委員会  
(実行委員：小平市／あさやけ作業所、東村山市／久米川共同作業所、清瀬市／工房わかば、東久留米市／東久留米市手をつなぐ親の会、まあぶる、事務局：のぞみの家、  
選考委員：武蔵野美術大学ほか、ボランティア：圏域5市福祉作業所ほか、  
作品保管協力：西東京市／ほうや福祉作業所)



展示会場



オープニング・セレモニー



9 第13回 多摩六都ヤング・ダンスフェスティバル 【中止】

多摩北部都市広域行政圏の青少年の健全育成事業として、東村山市の「ヤングライブフェスティバル」、清瀬市の「高校生写真展」とともに立ち上げた事業のひとつです。

多摩北部都市広域行政圏の高等学校の生徒を対象として、ヒップホップ、ブレイクダンス、ジャズダンス等、ダンスのジャンルを問わず、ダンス発表の場を提供するとともに、高校生の自主性を育みます。また、この活動を通じて地域に高校生が活躍する場を作り、地域貢献する喜びを持たせ、活気あるまちづくりを推進することを目的としています。

本事業は、フェスティバル内容の企画検討、当日の司会や受付、会場整理など、参加チームの代表者により組織される高校生代表者会議により企画運営が行われ、高校生による高校生のためのイベントとして定着しています。例年多くの来場者があり、多摩六都全域で盛り上がりを見せています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しました。

- (1) 開催月日 令和2年2月23日(祝・日)
- (2) 開催場所 小平市民文化会館(ルネこだいら)大ホール
- (3) 応募状況 14校24チーム(30年度:13校、23チーム)、出演予定者539人(30年度:486人)  
白梅学園高校、小平高校、小平西高校、小平南高校、東村山高校、東村山西高校、  
日本体育大学桜華高校、明治学院東村山高校、明法高校久留米西高校、東久留米総合高校、  
田無高校、保谷高校、武蔵野大学高校  
※卒業生で構成された1チームが特別枠で参加  
来場人数 一人(30年度:1,647人)
- (4) 主催 多摩北部都市広域行政圏協議会 開催市:小平市  
主管 小平市教育委員会  
企画運営 高校生代表者会議